H26年度大阪府中学校生徒会サミット全体会「代表生徒のメッセージ」

メッセージ
～いじめを起こさないために～　お互いの意見をしっかり聞いて意思を尊重しあう。見るより自分で行動する。
「あいさつから、声をかけ合おう。」
「自分勝手」ではなく「自分から」。「自分は」ではなく「自分も」。
「見るより動き、見るより声かけをし、いろんなことを知る。」という事ができたらいじめはへる。
「見るより動け　自分から気付け」いじめは自然と起こるが止まりはしない。いじめは自分で止めるものであり起こさない努力も必要だ。そのために必要なのは行動することではないだろうか。友達がいじめられていたら手をさしのべる。友達がいじめをしていたら止めてあげるなど手段はたくさんあるだろう。
「みんなで声をかけあおう」普段のあいさつなどをとおして、声をかけあうことが大切だと思います。＊取り組み…あいさつ運動など
・個性・理解・意思・尊重　・身近なこえかけからはじめよう　・相手の個性を理解する　・相手の意思を尊重しよう　を生徒会から発進していく。これがいじめをなくす大切なことだと思いました。
あいさつは「元気だよ！」のメール送信
相手の個性を理解する。相手の意思を尊重する。
相手を尊重する。自分の意見を押し付けるのではなく、相手の意見を聞き、視野を広げる。
いじめがおきない環境をつくる。→クラスのみんなで協力できるような行事・キャンペーンをする。
いじめが起きる前に行動。起きてからでは遅い！ 予防することが唯一、根本的な解決になる。
いじめがなくなるように１人１人の意識を高め、声かけをしていけるように取り組んでいきたいです。
いじめでこまっている人、なやんでいる人がたくさんいます。お互いが、お互いをよく見てみましょう。いじめをしている人、されている人に、原因を聞く（事情調査）
イジメとは、人を憎む事から始まること、人を憎まなければイジメはおこならい。だから私たち生徒会ができる事は憎まないように、みんなが笑顔で１人１人が「楽しい」と言えるように良い環境作りを進めていくことが大切だ。
いじめについて、キチンと「知り」「見て見ぬふり」をなくしたい。「知る」と「見て見ぬふり」が出来なくなると思うから「見るより動いて、自分から気付こう」と努力していきたい。
いじめは、自分から注意しなければなくならない！ 自分からの「やめよう」の一言でいじめは、なくなるかもしれない。
いじめは、他人事ではありません。どれも、私達の身近にある大変な社会問題です。もう一度いじめについて考え直し、自分の意見を持ってクラスで話し合う事が大切だと思います。そして私達が加害者にならないためにも、人の気持ちを考えて行動する事が大切だと思います。
いじめは、無くせるものであり、原因というものが必ずある。だから１人１人がいじめの原因を絶対なくすという意思をもつべきだと思う。そのために私たちは意思をもつことをポスターなどでうったえたい！
いじめは、人にたいして無関心になってしまい、人の気持ちを考えられなくなったところからはじまると思います。なので、みんなで声をかけ合おうのように、人とコミュニケーションをとることからはじめるためにあいさつ運動をしたいと思います。また、いじめられていることを言えない人がいると思うので、相談箱のようなものを作り、みんなで協力して解決したいと思います。

H26年度大阪府中学校生徒会サミット全体会「代表生徒のメッセージ」

メッセージ
いじめは、１人だとしないしできないと思う。いじめようとしている子にあわせるのじゃなくて、してはいけないと声をかけることが大切だと思いました。そんな風に人にあわせることが本当の友達ではなく、自分の意見を言い、分かりあえる人が友達だと思う。声をかけるところは、まず友達からしていき、そこから学校にひろげていければいいと思います。
いじめは完全にはなくならないかもしれません。でも、なくすために何か行動にしたいです。言いだしたりするのは難しいかもしれないけれど、頑張って声にして伝えて、いじめを減らせるようにしていきたいと思います。
いじめはダメと言うことをみんなで声をかけあえばちょっとでもみんながいじめはダメだということに気付くと思います。いじめをなくしたいと思う人はたくさんいると思うので、その人たち全員でなにかよびかけができたらいいなと思う。
いじめはなくせる
いじめられている人がいることを知って、その人に声をかけてあげてほしい。
いじめられている人の心には「声」が１番届くもの。だから、みんなで「声」をかけ合おう。
いじめをしている人を決して見て見ぬふりをしてはいけない。ただし「いじめ」という行動を注意すべきなのであって、行動を起こした本人をたたきつぶすためにさわいではいけない。
いじめをなくしていくために「みんなで声をかけあう」ということが大切だと思いました。声をかけあうといわれても難しいと思うのでまずはあいさつから始めていけば良いと思いました。
いじめを見て見ぬふりするのではなく、１人１人が見かけたら注意するなど、行動に表すことを勇気を持ってしよう！
いじめを見てみぬふりをせず積極的に声をかけていけば必ず笑顔になる。
おたがいに注意ができる仲間関係。見てみぬふりは、いじめている加害者のことをおそれているからだと思うので相手に注意ができる仲間関係が大事です。
考える
環境・状況・思いやりの3つでいじめはなくせる。いじめというのは一人一人が協力し声をかけたり見て見ぬふりをしないことでなくしていけると感じた。目安箱を設置するのも良いと思った。
気づいたら早く。いじめだと思ったらすぐに注意してあげることが大切です。いじめているんは自分がしてる事に気付いていないかもしれないからです。
声をかけあえるすてきな学校を目指す。みてみぬふりをせずみんなが声をかけあえるようによびかけのポスターを掲示したりしていじめを無くす取り組みをおこない、活動テーマの「すてきな〇中生！」にはじない学校を作っていく。
声をかけないのは、相手のことを知らないから。動かないのは、どうすれば良いか分からないから。見てみぬふりをするのは、自分が一番かわいいから。知る。そして考えろ。それが私たちにできる最良の選択
しっかりと、自分の身の回りに視野を広め、声をかけていく事がいじめを起こさないようにするために大事なことだと思います。まずは、僕たち生徒会が中心となって周りの人達にいじめについて意識してもらえるように呼びかけていくことから始めていかなければならないと思います。
自発的に。

H26年度大阪府中学校生徒会サミット全体会「代表生徒のメッセージ」

メッセージ
自分から動き、声をかけて、いじめをなくす！
自分から行動をおこす
自分からしないとなにも始まらない。さあ、動け！
自分の意見を持つ
自分は嫌じゃなくても、他の人にとっては、嫌なことだと考える。そして、それが分かったらすぐにやめるようにしていく。自分が嫌と思うことは相手にはしない
視野を広く持とう。そして声を掛け合おう。そのために…普段からたくさんの人とコミュニケーションをとる！！
周囲を知り、自分から動く
信頼できる人をふやそう！！理由　いじめをすぐになくすことは、絶対にできないけれど、いじめを防ぐためにできることは、たくさんあります。すぐになくならないことだからこそ、新しく信頼できる人をつくるために他の人とふれあえる機会が必要だと思います。（イベント・行事）
生徒会から積極的にいじめはだめだと伝えていこう。「見て見ぬふりをしない」というキーワードについて見て見ぬふりが出きるということは相手の立場に立って考えられていないからだと思う。普段学校などで相手の立場に立って考えるトレーニングなどはしないので、一度そういう事にとっかした場を生徒会中心に作ってみるのはどうだろうか。
生徒会としてできることとして、学代と生徒会が協力していじめをなくすように呼びかけることが大事だと思った。「いじめは幸せを産むのではなく、幸せを奪うものだ」と思った。
それぞれ個性があって当然。その事でいじめてはいけないと思います。被害者だけでなく加害者も気持ち良く過ごせる学校を作らなければいけないと思います。
小さな勇気を出す。ちょっとした勇気でいじめをなくせると思うので、積極的に声かけをしていじめはダメなんだ、いじめることは恥ずかしい事なんだと思ってもらうようにしようと思ったからです。
仲間の声を聞く
話し合いをして、さまざまな意見が出て、これからやっていけることについては、ポスターをはったり声かけをしたりげきなどで伝えるということです。これらを話し合いだけで終わらせるのではなく、これからの生徒会活動に生かし、今日をムダにしないようにしなければなぁと思いました。だからまず、行動にうつさなければと思いました。
一人じゃない、思いきって伝えよう。いじめられている人に…まわりには先生や親、助けてくれる人が絶対います。だからおもいきって声に出してほしいと思います
一人じゃ難しい事も、みんなで協力すれば、きっとなんでも出来る。あきらめない事が大切。
一人の責任はみんなの責任、だから守るべきものは人の事を気にかけて互いにかけあう“声”
ひとりひとりがいじめに対処するために「みんなで声をかけあう」ことと「見て見ぬふりをしない」ということが大切です。みんなが積極的にいじめをなくそうとすればなくなります。

H26年度大阪府中学校生徒会サミット全体会「代表生徒のメッセージ」

メッセージ
一人一人が笑顔を大切にし相手の気持ちを考えて行動できる様にしていったらいいと思います。私達生徒会が今できることは、全校生徒一人一人が日々笑顔を絶やさない為の環境を作る事だと思います。
1人1人の気持ちを知り、それを話し合う事が大切だ。
一人一人の声、気持を大切にしたい。
傍観者にはぜったいになってはいけないと僕は思います。いじめられているところに急にやめろと、とめにはいっても、とめにいった人がぎゃくにいじめられると思うので、少しのゆうきをもって先生などにつたえれば先生たちもいじめがあると理解し、そのいじめをみたら、とめにはいれるからです。いじめられている人も、みかたがたすけてくれたと思いらくになるかと思います。
僕は今中二ですが、一年生のときは全く自分から意見言えずにいました。しかし二年生になってから一人一人が変わらなければ学校は変わらないと思い、自分から自分をかえてみました。そして自分を変えたいと思う人は自分から変えていって欲しいです。
毎日楽しく笑顔ですごそう！
まずは、声をかけることから始めよう！！
まずはクラスで「いじめ」について考え、「いじめ」が起こらないような空気をつくっていくことが大切だと思います。
まず1人1人の事を考えることが大事だと思うので、生徒会で皆が参加するそんな行事を増やし、皆を楽しませれるよう頑張っていきたい。
周りを見てみよう。みんな笑顔？
見ているだけではなく、行動をし、みんなで声をかけあう。そしてなにより、見て見ぬふりをしない環境を作りたい。（加害者を止める・被害者を助ける・加害者をふやさない環境）
見て見ぬふりはせず、まずは自分が行動しよう。
見て見ぬふりをしている事、それも“いじめ”の1つであり、始まりであることを忘れない。
見て見ぬふりをして何も行動できていない人がたくさんいると思います。だから生徒会である私たちから声をかけあい、いじめをなくせたらいいなと思います。
見て見ぬふりをしないこと、みんなで声をかけあうことで、いじめをなくしていけるよう、いろいろな人の意見を知り、いじめをなくせるようにみなさんで協力していきたいです。
見て見ぬふりをするのではなく、あかんことは「あかん！」と言えるようにしたいと思いました。そのことを言えるように生徒会であいさつ運動を行いたいと思いました。
見て見ぬふりをせずに、自分から、みんなで、声をかけあおうとすることが大切なこと。（クラス全員で仲良くする）

H26年度大阪府中学校生徒会サミット全体会「代表生徒のメッセージ」

メッセージ
見て見ぬふりをせずまず相談！自分では声をかけれないなら先生か相談boxにたよろう。
見てみるふりをせず、見たのなら動け！！
みんながあいさつやちょっとした会話をすることで全ての学校からいじめがなくなればいいな、と思う。そしてみんなが毎日笑顔でいれたら本当に素晴らしい。
みんなで声をかけあい、いじめについてみんなで考え行動しよう。
みんなで声をかけ合い、見て見ぬフリをせず、互いに助け合おう。
みんなで声をかけあおうがいじめを無くすのに一番良いなと思いました。そのために他の委員会の人にも手伝ってもらう。
みんなで声をかけあったら必ずいじめはなくなります。全員が楽しい学校生活を送れるように、周りに目を向けて人の気持ちを考えて行動していける人になりたいです。
みんなで防ぐ。いじめはいけないことで、みんなで起きないようにすることが大切。学校でいじめについて話し合うことがよいと思います。いじめに対しての認識を変えることができると思うからです。加害者はもちろん、見ている人・見て見ぬふりをしている人の。
みんなの声を聞いて！知って！一人一人お互いのことを分かりあおう
もし自分がいじめられた時、いじめられているのを見た時、こわいかもしれないけど、それを誰かに伝えて、今を変える必要があると思います。だから安心して相談できる相手が1人でも多くなれるような学校をつくりたいと思います。
よく見てまわりでいじめはおきてない？いじめは見てみぬフリをしているせいで、どんどん大きくなっていきます。だから、いじめを無くすためには、みんなで声をかけて、お互いをよく知れたら仲良くなれるはずです。そして、いじめは無くなるはずです。
より良い学校を作るには先生の力だけじゃ作れないので、生徒1人1人が意識し協力する。そしてより良い学校になれば“いじめが”無くなる。
私が伝えたいメッセージは考えや、思った事は声に出したり行動にするのが1番。